APA
SOPHISTICATED SOUND BY UNIPEX

ワイヤレスマイクロホン

WM-8240

技術基準適合証明品 **取扱説明書**

このたびは、ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

はじめに

■商品概要

・本機は、ボーカル用ワイヤレスマイクロホンです。
・PLLシンセサイザ方式の採用により、送信周波数の設定ができます。
・同一空間で最大15波の同時使用が可能です。(使用条件など、詳細は6ページ参照)
・コンピュータ雑音、調光コントロール雑音などの影響を受けにくい800 MHz帯を採用しています。
・単3形マンガン乾電池1本で、連続約10時間使用できます。
(単3形アルカリ乾電池1本で、連続約20時間使用可能)
・電源は単3形乾電池と、充電池パック(別売品)による充電式の2通りで使用できます。
・抗菌UVコーティングを採用しています。
・パッドスイッチ(0 dB,-6 dB,-12 dB)により、用途に応じて入力レベルを選択できます。

■付属品をご確認ください

足りないものはありませんか。万一、不足のものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

単3形乾電池 R6P	1	表示ラベル(チャンネル・グループ・15チャンネル・グループ名) . .	1
マイクロホンアダプタ(PF 1/2)	1	ソフトケース	1
変換ねじ(PF 1/2→W3/8→W5/16) ……	1	取扱説明書(本書)	1
チャンネル設定用小型ドライバ	1	保証書	1

UNI-PEX

安全上のご注意

必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

◇記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解／改造はしない
火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

航空機内では電源を切る
運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

医用電気機器に近づけない（手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない）
本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池は極性（プラス＋とマイナス－）を正しく入れる
間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

上手な使いかた

■取扱上のお願い

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当てたりしないでください。

マイク本体に水は禁物

水に濡れた場合はすぐに電源スイッチを切り、乾いた布で拭いてください。

乾電池は正しく使う

使いかたを誤ると、電池の液漏れで商品が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱、火の中への投入はやめてください。

放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

使用後は

電源スイッチを切ってください。
また、長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。

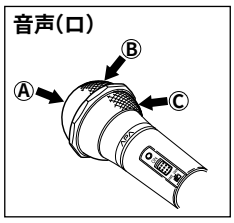
■使用上のお願い

マイクと口との距離

マイクは口から5～10 cm離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を再生します。また、マイクを口に近づけると低音が強調されます。

マイクの方向性

本機は、単一指向性マイクのため、Aの方向の音声には感度がよく、BCの方向はAの方向に比べ感度が1/2～1/5 になります。よい音質で感度よく使用するためには、音声(口)が前面Aの方向にくるようにしてください。



ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしぼるか、マイクの使用位置を移動してください。

強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生します。
(携帯電話は、同じ800 MHz帯を使用しているため、混信します)

電波の到達距離は

本機とワイヤレスアンテナ間は、屋外で約60 m、屋内で約30 mまで離れて使用できます。これ以上離れると使用できません。(上記の距離は、受信設備各機器の感度設定スイッチなどが出荷時の状態の場合)

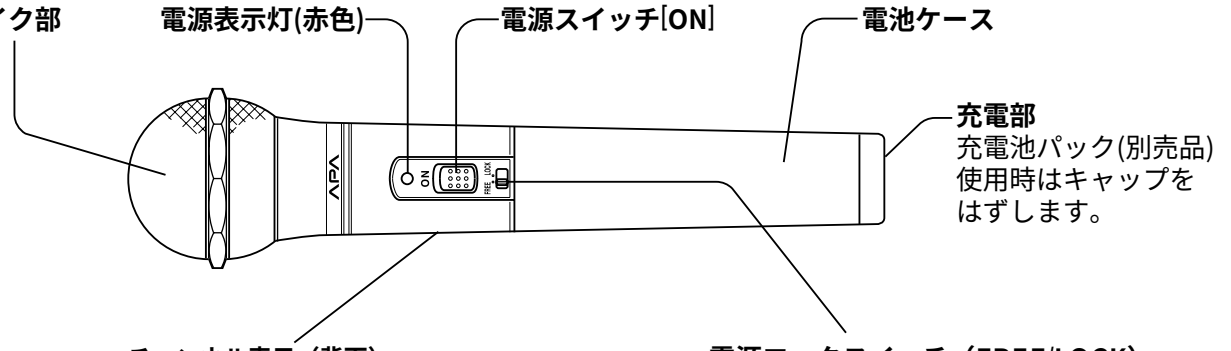
雑音が入るときは

・ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2～10 mが適当です。ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
・受信機やワイヤレスアンテナはディジタル機器や高周波雑音のでる機器などから、できるだけ離して設置してください。(5 m以上)

マイクどうしは、50 cm以上離して使用する

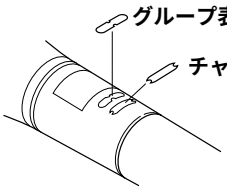
・2本以上を50 cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
・1本のみで使用する場合でも、使用するマイクの前面ネットと使用していないマイクの前面ネットが接触すると、雑音が発生する場合があります。
・金属などが、使用しているマイクの前面ネットに接触すると、雑音が発生する場合があります。

各部の名前と働き



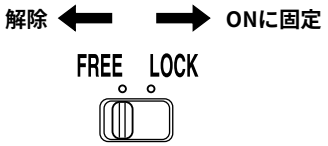
チャンネル表示（背面）

表示ラベル(付属品)を貼ると、チャンネル区別などに便利です。



電源ロックスイッチ（FREE/LOCK）

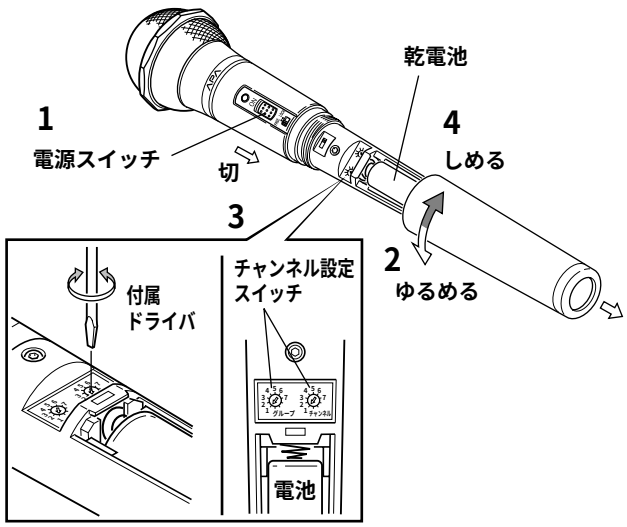
電源スイッチをONの状態で固定できます。
・電源スイッチをONにしてから、電源ロックスイッチを付属のドライバ等でLOCK側に設定します。



周波数設定のしかた

・マイクと受信機は、同じ周波数に設定してください。
・同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください。(同グループ、異チャンネル)

■周波数設定のしかた



1.電源スイッチを「OFF」にする。

「ON」のままで設定しても、周波数は変わりません。

2.電池ケースをはずす。

矢印方向(右図参照)にまわし、下にずらします。

3.グループ・チャンネルを設定する。

小型ドライバ(付属品)で、受信機のグループ・チャンネルと同じ数字に合わせます。

4.電池ケースを閉める。

元通りにしっかり閉めます。

■グループについて

●同じ場所で複数のマイクを同時に使用するときは、1つのグループに統一して使用します。
学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとにグループを割り振ります。
・グループ1～4……最大6波まで。・グループ5……5波まで。・グループ6……1波まで。
・グループ7 ……7波まで。ただし、隣接した部屋の他のマイクは使えません。
●15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。
設定方法については、「多チャンネル運用について」(6ページ)をご参照ください。

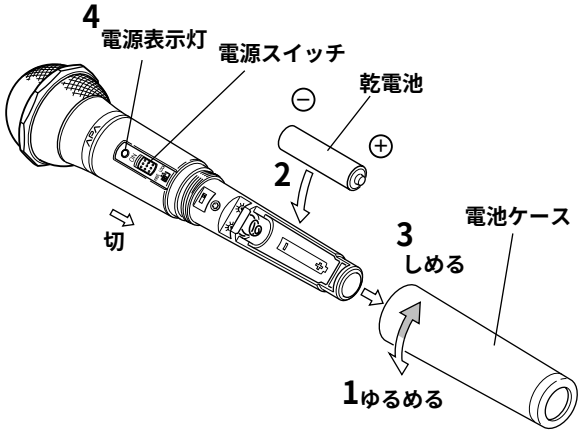
お願い

送信周波数表(7ページ)に無いグループ・チャンネルに設定して電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯は早い点滅をし送信できません。そのままの状態にしておくと、乾電池を消耗します。

乾電池の交換・確認のしかた

お願い

乾電池の交換は、必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。



1.電池ケースをはずす。

矢印方向(右図参照)にまわし、下にずらします。

2.乾電池を入れる。

付属の単3形乾電池 1個を入れます。
表示の極性の通りに入れてください。

3.電池ケースを閉める。

元通りにしっかり閉めます。

4.乾電池の確認をする。

電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯が点灯することを確認してください。

メモ

つぎのような場合は、乾電池が消耗しています。新品の乾電池と交換してください。
・電源表示灯が遅い点滅をした場合。
・電源表示灯が点灯しない場合。

充電式電池について

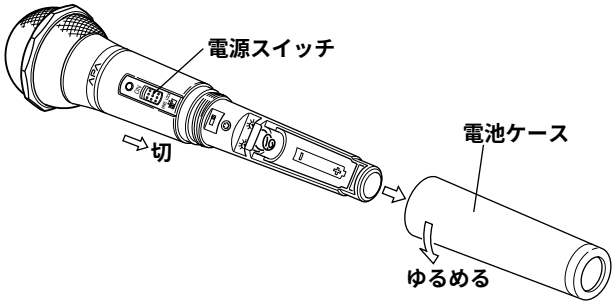
充電式電池は、必ず専用充電池パック WRP-8000(別売品)をご使用ください。
また充電器は、ワイヤレスマイク用充電器 WP-8002(別売品)をご使用ください。

お願い
- 必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。
- 充電池パック WRP-8000、充電器 WP-8002の取扱説明書を合わせてご参照ください。
- 初めて使用する場合や、長い間(１ヵ月以上)使用していなかった場合などは、必ず充電してからご使用ください。
- 充電池パック WRP-8000の内部に使用している電池の充放電回数は、約500回です。
  これ以上の回数を過ぎた場合や電池が古くなってくると、充放電効率が大幅に低下します。
  早めに交換してください。

■充電池パックの入れかた

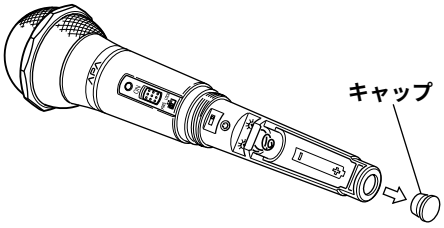
1.電池ケースをはずす。

矢印方向(下図参照)にまわし、下にずらします。



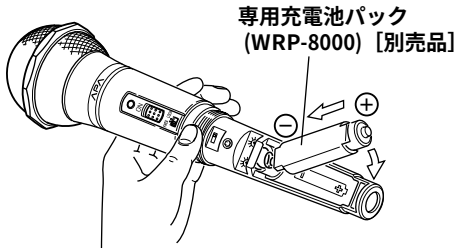
2.充電部のキャップを取りはずす。

乾電池を使用する場合は、このキャップを再び取り付けるため、必ず保管しておいてください。



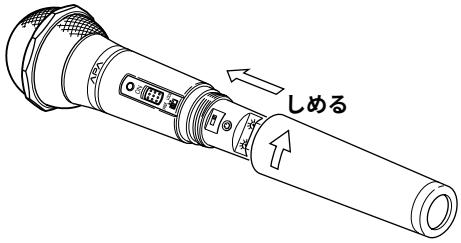
3.専用充電池パック WRP-8000を入れる。

充電池パックをマイク本体のスプリング端子側㊀側に押しつけてから㊉側を差し込みます。



4.電池ケースを閉める。

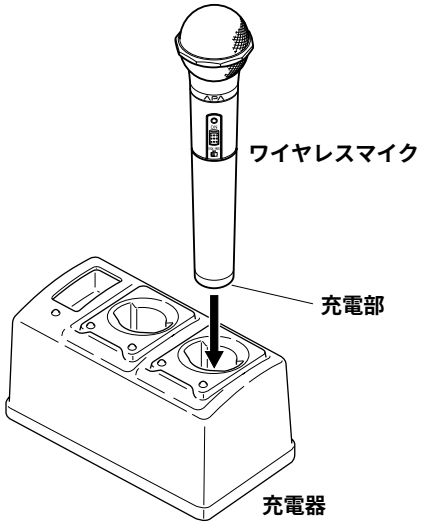
元通りにしっかり閉めます。



■充電のしかた

ワイヤレスマイク用充電器 WP-8002(別売品)のワイヤレスマイク差し込み口に、充電池パック装着済みマイクの充電部を下にして入れます。
約5時間で充電が完了し、充電完了表示灯(緑色)が点灯します。

- 充電途中でワイヤレスマイクを差し込み直すと、最初から充電を開始し、過充電になりますのでご注意ください。
- 充電は、できる限りワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、ワイヤレスマイクの使用時間が短くなる場合があります。(充電池パックのメモリー効果)
  メモリー効果が発生したら、ワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅するまで使用してから充電してください。



パッドスイッチの設定

お願い
必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。

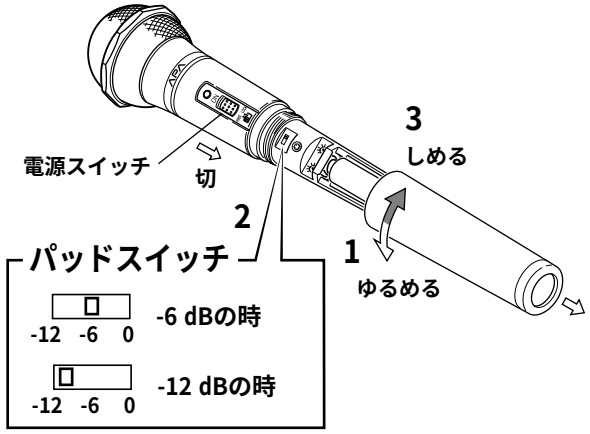
1.電池ケースをはずす。
矢印方向(右図参照)にまわし、下にずらします。

2.設定する。
ボーカル用などで大きな入力が加わり、音がひずむ場合は、-6 dB または-12 dBに切り換えてください。
(工場出荷時は0 dBに設定されています)

最大入力音圧の目安

パッドスイッチ	最大入力音圧
0 dB	128 dB SPL
-6 dB	134 dB SPL
-12 dB	140 dB SPL

3.電池ケースを閉める。
元通りにしっかり閉めます。



多チャンネル運用について

■15波同時使用対応機種

15波同時使用には、送信機・受信機・アンテナ・分配器がそれぞれ15波同時使用対応機種である必要があります。

●対応機種(1998年6月現在のものです)

- ワイヤレス送信機 WM-8030A, 8130A, 8240, 8330A
- ワイヤレス受信機 WTD-8121, 8141
- 分配器 DWD-8240
- ワイヤレスアンテナ ... AA-C801, AA-C802, AA-810

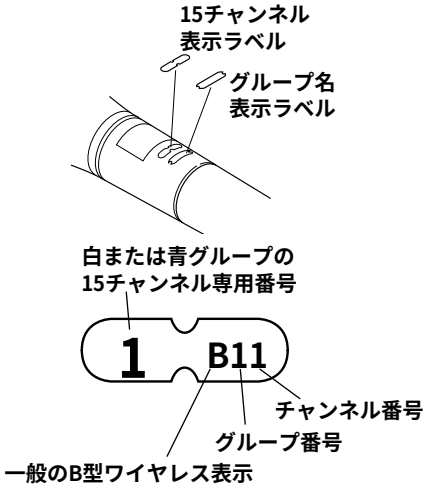
●15波同時使用時の運用方法
ワイヤレス受信機の取扱説明書をご参照ください。

■チャンネルの設定

- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。
- 同時に使用するマイクは、同グループ(下表の白または青)・異チャンネルにしてください。
- 表示ラベル(付属品)を貼ると、チャンネル区別しやすくなります。
  表示ラベルは3つに折りたたんで、ソフトケース(付属品)のポケット部にチャンネル設定用小型ドライバ(付属品)と一緒に入れておくと便利です。

15波用白グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B11	806.125
2	B12	806.375
3	B31	806.625
4	B32	806.875
5	B13	807.125
6	B33	807.375
7	B51	807.625
8	B24	807.875
9	B52	808.125
10	B53	808.375
11	B35	808.625
12	B26	808.875
13	B44	809.125
14	B45	809.375
15	B55	809.625

15波用青グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B21	806.250
2	B22	806.500
3	B41	806.750
4	B23	807.000
5	B61	807.250
6	B42	807.500
7	B14	807.750
8	B43	808.000
9	B34	808.250
10	B25	808.500
11	B54	808.750
12	B15	809.000
13	B36	809.250
14	B16	809.500
15	B46	809.750



＜15チャンネル表示ラベルの表示例＞

定格

トーン信号	32.768 kHz
電波形式	F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW
到達距離	ダイバシティ受信機 WTD-8121,8141 システムにて 約60 m(屋外)
変調感度	±5 kHz FM(パッド 0 dB,92 dB SPL 1 kHzにて)
使用マイク	単一指向性ダイナミックマイクロホン
周波数特性	100 Hz～10 kHz(1 kHz 基準 50 μs エンファシス)
最大入力音圧	140 dB SPL(パッド -12 dB)
入力等価雑音	34 dB SPL以下(Aカーブ,パッド 0 dB)
使用電池	単3形乾電池 R6PX1個 1.5 V または専用充電池パック WRP-8000(別売品)
消費電流	約60 mA (1.5 Vにて)
乾電池寿命	約10時間(単3形マンガン乾電池 R6P 使用、常温25 ℃ 連続使用にて) 〔約20時間(単3形アルカリ乾電池 LR6 使用、常温25 ℃ 連続使用にて)〕
使用温度範囲	0℃ ～ +40℃
寸法	φ59 (最大径) × 245(長さ) mm
質量	約 250 g (乾電池 R6P 含む)
仕上げ	ガンメタリック調樹脂仕上げ　　(マンセル N2.5 近似色)

送信周波数（0.125MHz間隔、30波）							
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)						
	1	2	3	4	5	6	7
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

メモ

・15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。
設定方法については「多チャンネル運用について」(6ページ)をご参照ください。

15波用グループ対比表
(必要に応じて切り取り、B8サイズカードケース等に入れてお使いください)

15波用白グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B11	806.125
2	B12	806.375
3	B31	806.625
4	B32	806.875
5	B13	807.125
6	B33	807.375
7	B51	807.625
8	B24	807.875
9	B52	808.125
10	B53	808.375
11	B35	808.625
12	B26	808.875
13	B44	809.125
14	B45	809.375
15	B55	809.625

15波用青グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B21	806.250
2	B22	806.500
3	B41	806.750
4	B23	807.000
5	B61	807.250
6	B42	807.500
7	B14	807.750
8	B43	808.000
9	B34	808.250
10	B25	808.500
11	B54	808.750
12	B15	809.000
13	B36	809.250
14	B16	809.500
15	B46	809.750